

鴨 教 生 第 8 0 5 号
令和3年 3月 2日

鴨川市文化財保護審議会委員 各位

鴨川市文化財保護審議会
会 長 小谷 善親

令和2年度文化財保護審議会の書面開催について（依頼）

残寒の候、ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、緊急事態宣言が発令されている状況下、新型コロナウイルス感染防止の観点から、ご連絡のとおり、今回の会議については、書面報告とさせていただきたいと思います。

つきましては、同封の「令和2年度文化財保護審議会会議資料」をご確認のうえ、別紙「意見書」に各報告へのご意見をご記入いただき、令和3年3月18日（木）までに同封の封筒でご返送下さい。

何とぞご理解のほど、よろしくお願いいたします。

記

1. 同封会議資料

- ・ 書面会議依頼状（本状）
- ・ 報告 資料 鴨川市指定有形文化財の指定
令和元年度災害による指定文化財の被害 等
- ・ 添付資料
- ・ 意見書

【連絡先】

〒296-0001 鴨川市横渚 1401-6
鴨川市教育委員会生涯学習課
文化振興室 担当 高橋
TEL 04-7093-3800

○報告

1. 鴨川市指定有形文化財の指定について

(1) 「房州峯岡山野絵図・房州朝夷郡柱木野絵図（石井孫左衛門控）」

令和2年1月9日付で指定

(2) ミニ展示「市有形文化財指定記念 嶺岡牧の絵図」 【別添資料2-1】

文化財指定を記念して、該当絵図2枚を、書かれている文字と情報の解説とともに、公開しました。

2. 令和元年度災害における指定文化財の被害について 【別添資料2-2】

(1) 台風15号の被害 9月8日～9日

①県指定天然記念物 天津のまるばちしゃの木

枝折れ 影響なし

②県指定天然記念物 ばくちの木群生地

枝折れ 影響なし

③県指定有形文化財 誕生寺仁王門

屋根瓦の一部（落下した瓦を発見） 損傷した箇所は不明

④市指定有形文化財 大山寺鐘楼

倒木が屋根に当たるも目立った被害なし

⑤市指定天然記念物 白滝山姉妹イチョウ

枝折れ 影響なし

⑥市指定天然記念物 長徳院イヌマキ

枝折れ 影響なし

⑦登録文化財 水田家住宅

屋根の茅の一部分が浮き上がる。軽微のため修復は保留とのこと。

⑧登録文化財 鈴木家住宅

主屋の茅葺き屋根、離れ・火入れ蔵・穀蔵の屋根瓦・外壁漆喰

状況から台風以前より小さな損傷があり、台風によって拡大したと推測される。

応急処置済。修復には概算で約600万円の見積のため、所有者にて修復検討中。

(2) 台風20号から変わった熱帯低気圧 10月22日

⑨市指定有形文化財 大山寺鐘楼の屋根隅瓦 倒木がかすめたことによる損傷

修復については、鐘楼全体、不動堂の修復計画と合わせ、協議中

(3) 時期不明

⑩国指定天然記念物 清澄の大スギ 枝折れ

高さ約42m付近の南西方向に伸びた枝が幹の根元から折れて、40m付近に残っていました。枝が落下しなかったため発見が遅れ、いずれかの台風が原因と思われますが

確定できません。年実施している害虫駆除事業の際に発見、確認をしました。

令和2年 4月 5日 被害確認

4月 9日 千葉県を通じ文化庁へき損届提出

12月22日 所有者・清澄寺にて樹上に残っていた枝を撤去

※撤去については届出の必要なしの旨確認済み。

折れた枝については、現在、清澄寺に展示中。有効活用するとのこと。

(4) 指定文化財関連物の被害（台風15号）

①市指定史跡 山口志道生誕記念碑 倒壊 【別添資料2-3】

修復については、土地所有者にて実施予定。

ただし、記念碑の取り扱いについて、指定史跡に付随するものなのか、それとも別のものなのか、所有者である平野氏より相談がありました。所有者としては、今後のため、付随したものとして扱って欲しいとの意向です。

《このような場合の碑の取り扱いや事例などありましたら、ご意見・ご教授をいただきたい》

3. 県指定無形民俗文化財 北風原の羯鼓舞の休止について

北風原羯鼓舞保存会より、会員並びに演者（子供）の減少のため、しばらく活動を休止するとの申し出がありました。休止期間については未定です。

4. 千葉地層10選について

千葉県において「千葉の地層10選」を決定した旨の発表が令和2年2月6日にありました。鴨川市内では、2地点が選ばれています。

《千葉地層10選》（発表順）

- ・木下貝層（印西市） ・銚子の白亜紀浅海堆積物（銚子市）
- ・屏風ヶ浦（銚子市・旭市） ・養老川流域田淵の地磁気逆転地層（市原市）
- ・上総丘陵の砂岩泥岩互層（いすみ市） ・鋸山の「房州石」（富津市）
- ・勝浦鵜原の黒滝不整合（勝浦市） ・鴨川松島（鴨川市）
- ・保田層群のカオス層（鴨川市） ・沼サンゴ層（館山市）
- ・白浜の海底地すべり堆積層（南房総市）

○鴨川松島 鴨川市貝渚 約7000年前～現在（岩石は約4000万年前）

大小の島々が点在し、それぞれが異なる岩石から構成されている。嶺岡山系の地質構造や成因を暗示する。

○保田層群のカオス層 鴨川市江見 約1800万年前

日本でも最も新しい新第三紀のプレート付加体（プレートの沈み込みによって海溝付近で作られた地層）からなる。地層がずたずたに分断され、混沌とした様子を示す

5. 新型コロナウイルス感染防止による無形民俗文化財の中止について

令和2年度において、各地の祭礼が開催中止となったため、9月の大浦の担ぎ屋台巡行・吉保八幡のやぶさめ、10月の和泉の三役、いずれも開催中止となりました。

なお、和泉の三役については、令和元年度も台風被害による自粛のため奉納が中止となっています。

6. 日蓮上人誕生地跡地調査（鯛の浦海底調査）について 【別添資料2－4】

日蓮上人御降誕800年に合わせ、これまで語り継がれてきた伝説の解明と、文化財としての位置付けなども検討しながら、新たな観光資源としての開発、商品化を図ることを目的として、現在、海中に沈んでいるとされている日蓮上人誕生の地について、令和元年度・2年度の2か年にわたり海底調査が行なわれました。

国指定特別天然記念物・鯛の浦のタイ生息地の範囲内のため、千葉県を通じ、文化庁と協議を行なった結果、ソナー等による調査であること、調査場所が内浦海岸付近でタイの生息域と思われるところから離れていること等により、現状変更にあらずとの回答がありました。

なお、調査にあたっては、市生涯学習課文化振興室、県文化財課の担当者が立会い、調査内容を確認しています。

現状、遺構・遺品と思われるものは発見されていません。

これ以上の調査は、潜水による目視、もしくは高性能の地層探査装置が必要となり、予算上困難な状況です。

7. 国指定特別天然記念物「鯛の浦タイ生息地」の現状変更の終了について

・「鯛の浦タイ生息地」の範囲内の遊歩道への落石防止を目的とした工事の実施

平成31年1月17日 関東森林管理局長より現状変更の許可申請

平成31年3月18日 文化庁長官より同意

令和 2年3月 関東森林管理局長より完了報告予定

【別添資料 2 - 1】ミニ展示「市有形文化財指定記念 嶺岡牧の絵図」

○期間：令和 2 年 1 1 月 1 日（日）から 1 2 月 1 3 日（日）

○場所：市郷土資料館 2 階展示室にて公開

○期間内の入館者数 4 0 7 人 （市内 1 5 8 人・市外 2 4 9 人）

展示内容：「房州峯岡山野絵図・房州朝夷郡柱木野絵図（石井孫左衛門控）」絵図

絵図内文字解説（カラー）パネル 峯岡山 3 2 枚・柱木 1 2 枚

展示パネル「房総の牧」 1 3 枚

県内の幕府直轄牧の解説パネル。酒々井町より借用



解説パネル



峯岡山野絵図



柱木野絵図と解説パネル



解説パネル一例

領主・石高・村名など
記載されている文字を
すべて表記



房総の牧展示パネル

【別添資料 2 - 2】令和元年度災害における指定文化財の被害

(1) 台風 15 号の被害

① 県指定天然記念物

天津のまるばちしゃの木



② 県指定天然記念物

ばくちの木群生地



標柱も倒壊 復旧済



④市指定有形文化財
大山寺鐘楼

確認するも損傷らしきものはなし



⑤市指定天然記念物 白滝山姉妹イチョウ



⑥市指定天然記念物 長徳院イヌマキ



⑦登録文化財 水田家住宅



⑧登録文化財 鈴木家住宅



穀蔵



穀倉 南側



火入れ蔵



主屋 大棟



応急処置後



主屋 正面

(2) 台風20号から変わった熱帯低気圧
⑨市指定有形文化財 大山寺鐘樓の屋根隅瓦



倒木

・時期不明

⑩国指定天然記念物
清澄の大スギ

上が折れた箇所

下に枝が残る

(ドローンにて撮影)



撤去の様子



撤去された枝

【別添資料 2－3】

(4) 指定文化財関連物の被害 (台風 15 号)

⑪市指定史跡 山口志道生誕記念碑 倒壊



倒壊前

【市指定第 25 号 杉庵志道誕生地】 平成 4 年 9 月 8 日指定

所在地 鴨川市寺門 135

面積 446.28㎡ ※碑など公園化しているのは一部

所有者 平野陽一 鴨川市寺門 135

管理者 山口志道顕彰会 ※選任届提出

当時の調査書、指定関連書類には、生誕記念碑の歴史は書かれていますが、碑を指定に含むなど、取り扱いについて記載はなし。

〔記念碑〕 大正 13 年 10 月 21 日に、安川文時・永井久松氏らによって建立

○山口志道顕彰会

史跡指定、誕生地の碑の修復保存などを目的として平成 4 年 4 月に設立。

当時の代表者 永井利一 北風原 928 会員 43 名

存命者は、平野氏、郷土史研究会現会長他数名のみで、現状、会としての活動はない。

なお、顕彰会は管理者となっただけではなく、所有者・平野氏と、碑の基礎部分の土地について、無償無期限の維持管理・賃貸契約を交わしている。

【別添資料 2－4】

6. 日蓮上人誕生地跡地調査（鯛の浦海底調査）

事業者 鴨川市（担当：商工観光課） 調査者 国立大学法人 東京海洋大学
委託先 日蓮上人御降誕 800 年観光客誘致委員会

①令和元年 史料・聞き取り調査及びドローンによる海上調査

海底が深く、従来言われていた大弁天小弁天付近に寺院・漁村などの痕跡を発見することはできず。

②令和 2 年 海底音響調査 第 1 回 9 月 5 日(土)～令和 2 年 9 月 11 日(金)
第 2 回 11 月 12 日(木)～令和 2 年 11 月 17 日(火)



調査箇所 内浦湾内奥部 （白が調査ルート）



自律型無人海上ロボットと、その下部に固定したサイドスキャンソナー

結果：

海底は砂泥で覆われており、明確な人工物は確認できなかった。遺物等が埋もれている可能性はあるが、現ソナーでの判別は困難。

この研究報告の詳細については、日本ではほぼ唯一の水中考古学の学術団体である NPO 法人アジア水中考古学研究所より日本における注目すべき水中考古学調査の一つとして一般的な紹介が、また、第 4 回アジア太平洋地域水文化遺産会議（2021 年 11 月 1 日～5 日、台湾）で、国立大学法人東京海洋大学の岩淵教授他の連名による論文発表が、それぞれ行なわれる予定。

令和 2 年度 文化財保護審議会 書面会議

【意見】（※ご意見がありましたらお書きいただき、ご返信下さい。）